

# 第5次千葉県住生活基本計画構成案

## ■もくじ案

### 第1章 計画の目的 及び位置付け

1. 目的
2. 計画の位置付け
3. 計画期間

### 第2章 千葉県の住生活を取り巻く現状

1. 「ひと」を取り巻く動向
2. 「すまい」を取り巻く動向
3. 「プレイヤー」の状況

### 第3章 基本的な方針

1. 理念
2. 方針

### 第4章 千葉県の住宅政策と地域別の取組

#### 1. 「ひと」の視点

- 目標1 若年・子育て世帯が希望する住まいを確保できる地域社会づくり
- 目標2 高齢期に希望する住生活を実現できる環境づくり
- 目標3 誰もが地域のなかで安定した住まいと暮らしが確保できる環境づくり

#### 2. 「すまい」の視点

- 目標4 多世代にわたり引き継がれる良質な住宅ストックの形成と循環
- 目標5 住宅の誕生から終末期まで切れ目のない適切な管理と再生
- 目標6 災害に備えた安全な住環境の整備

#### 3. 住まいを支える「プレイヤー」の視点

- 目標7 住生活を支える担い手の確保と連携

#### 4. 「地域」の視点

### 第5章 公営住宅の供給目標量

1. 公営住宅の供給方針
2. 公営住宅の供給目標量

### 第6章 住宅・住宅地の重点供給地域

1. 基本的な考え方
2. 重点供給地域

### 第7章 計画の実現に向けて

1. 施策の推進の主体と役割
2. 推進体制
3. 計画の適正な進行管理

## ■第4章 目標1の構成イメージ1/2

目標1 若年・子育て世帯が希望する住まいを確保できる地域社会づくり

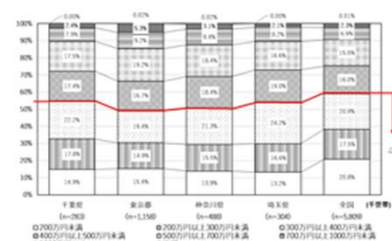
### 【現状と課題】

- 共働きの世帯は、世帯数、割合共に増加傾向にあります。
- 借家に居住する世帯主の年齢30歳代以下の世帯の5割は年収400万円以下となっています。
- 東葛・湾岸・印旛にUR団地等が立地しており、子育て世帯に係る共用空間の活用等が可能です。

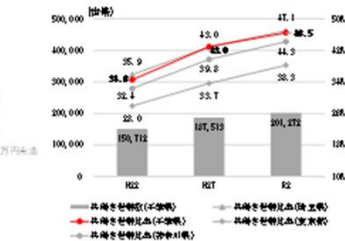
目標に関連する現状と課題を文章で整理  
(地域別の課題も含む)

現状と課題を裏付けるデータ・グラフ  
(地域別の課題も含む)

■借家に居住する世帯主の年齢30歳代以下の年収



■共働き子育て世帯に関する都道府県集計



資料：住宅・土地統計調査(令和5年)

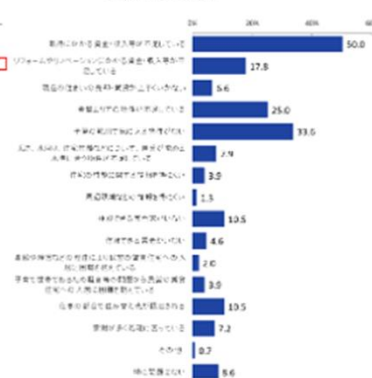
資料：国立研究開発法人 建築研究所

■県民WEBアンケート(令和8年実施)<若年・子育て世帯対象>

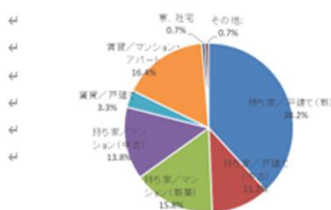
【住み替えのきっかけ】



【住み替えの課題】



【住み替え後に希望する住宅の種類】



## ■第4章 目標1の構成イメージ2/2

### 【基本的施策】

#### ① 若年・子育て世帯の住まいの確保

若年・子育て世帯がライフスタイルに応じて希望する住まいを確保するための支援、子育てがしやすい住宅へのリフォーム・リノベーションに対する支援とともに、特に東葛・湾岸、印旛地域ではUR団地等における子育て世帯の優先入居や共用空間整備を促進します。

#### <取組施策>

- 家事のしやすさや安全・安心の確保など、子育てしやすい住宅リフォーム・リノベーションに対する支援を行います。
- アフオーダブルな住宅の確保など、UIターンや持家取得への支援、三世代同居、隣居・近居の支援等を行います。
- UR団地等における、子育て世帯が利用しやすい共用空間等の整備、ソフト施策、優先入居等を推進します。

#### ② 若年・子育て世帯が暮らしやすい住環境の整備

.....

#### <取組施策>

.....

### 【成果指標】

成果指標	現状	目標
公的賃貸住宅団地(100戸以上)における地域拠点施設併設率	33% (R3)	概ね40% (R17)

基本的施策①～とその概要を整理

(地域的な特徴がある事項は、地域別の施策についても整理)

基本施策毎の具体的な取組施策を整理

目標毎に成果指標を設定